

各位

上場会社名	株式会社 大林組
代表者	取締役社長 白石 達
(コード番号)	1802)
問合せ先責任者	本社総務部長 高貝 克也
(TEL)	03-5769-1017)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	590,000	6,000	7,000	3,000	4.17
今回発表予想(B)	535,000	8,000	7,000	5,000	6.96
増減額(B-A)	△55,000	2,000	—	2,000	
増減率(%)	△9.3	33.3	—	66.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	700,430	5,828	7,681	1,632	2.27

平成23年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	470,000	4,000	7,000	4,500	6.26
今回発表予想(B)	429,000	6,900	8,000	1,800	2.50
増減額(B-A)	△41,000	2,900	1,000	△2,700	
増減率(%)	△8.7	72.5	14.3	△60.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	561,513	1,799	3,279	2,272	3.16

修正の理由

1 個別業績予想の修正の理由

(1) 売上高

一部の大型工事で進捗率が期初の想定を下回ったことや上期売却予定の販売不動産の売却時期が下期にずれしたことなどから、売上高は前回予想より410億円減少(△8.7%)する見込みです。

(2) 営業利益

完成工事利益率が期初見通しの5.6%(土木5.6%・建築5.6%)から7.7%(土木10.7%・建築6.7%)へ改善することなどから、営業利益は前回予想より29億円増加(72.5%)する見込みです。

(3) 経常利益

前回発表時(平成22年5月13日)の想定為替レートと比較して平成22年9月末の為替レートが円高になったことに伴って、為替差損が23億円発生しました。営業利益は29億円増加するものの、これを主要因として、経常利益は前回予想より10億円の増加(14.3%)にとどまる見込みです。

(4) 四半期純利益

株式相場下落に伴って投資有価証券評価損が37億円発生したことなどにより、特別損失を53億円計上する見込みとなりました。この結果、四半期純利益は前回予想より27億円減少(△60.0%)する見込みです。

2 連結業績予想の修正の理由

(1) 連結売上高及び連結営業利益

主に個別業績予想の修正に伴い、連結売上高及び連結営業利益の予想を修正するものです。

(2)連結四半期純利益

子会社の解散に伴って税金費用が減少すること(前回発表時には通期見通しに織り込み済み)などから、連結四半期純利益は前回予想より20億円増加(66.7%)する見込みです。

3 中間配当金につきましては、1株につき普通配当4円とする予定であり、変更はありません。

4 平成23年3月期通期の連結業績予想及び個別業績予想につきましては、本年11月の決算発表時に公表いたします。

(注)上記の連結業績予想及び個別業績予想は、現時点における入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

以 上